



# 恵田小新聞

平成 30 年  
7 月  
第 147 号



恵みの里の一員となつて  
校務主任・六年担任  
土井 孝夫

三月末。恵田小に赴任することになり通勤路を下見するため、初めて車で来てみた。周りの景色は緑の木々。どこだろう。あつ、なんて素敵な桜のトンネル。

その美しさに心を奪われ、そして四月。入学式、始業式。感動的な「歓迎の言葉」、子供たちとの対面。思い切つて、ギターで校歌を弾くと、素直な、伸びのある歌声が響き、私の緊張も解けていく。

それから三か月。学区の方々と一体となった、温かい雰囲気運動会。やはり学区の方に教えていただいたのブドウやコンニャクなどの栽培活動。まるで家族のように、互いのよさを認め合い、助け合つて過ごす子供たち……。恵みの里の一員となれたことに感謝し、その良さをもっともっと見つけていきたい。

## 晴天の運動会

運動会の思い出

保護者 柴田 耕平

過ごしやすい天気の中、見ごたえのある演技や競技を見て、一生懸命練習してきたということが伝わってきました。中には練習だけがをってしまった子も。そういうえば私も組立体操で落ちて当日松葉杖だったことあったなあ。

運動会

保護者 中島美恵子

天候にも恵まれ、無事に運動会を迎えることができました。一年経つて一回り成長した子供たちの姿は立派で、走る姿も力強くなった気がします。演技や競技を間近で見られて、感動がいっぱいの運動会でした。



大せいこう

二年 たかはし りょう

ぼくはうんどう会をたのしみにしていました。一りん車カーニバルがあるからです。せいこうするか心ばいでしたが、フラワーや四人で手をつないで前進することができたので、大せいこうでした。

みんなでダンス

三年 大山 実和

わたしは運動会で一番すきなことはダンスです。毎年おどることをとても楽しみにしていました。本番は笑顔いっぱいでおどりました。来年、ダンスはないけれど、四年生からの組み立てもがんばります。

がんばった組み立て

四年 小原 瑛太

ぼくは、とう立がでなかつたので、本番までにはできる心配でした。太田先生が「思いつきり足をふり上げて。」とアドバイスをくれて毎朝特訓しました。そして、がんばつて練習したらできるようになりました。本番も大成こうでした。がんばつてよかつたなと思えました。

親子リレーでアンカーだ

五年 本多 暖美

運動会の親子リレーで、アンカーでした。勝てないのではないかと心配していました。本番は最後のほうでぬかされそうになったけれど、ぬかされないように全力で走り、勝てました。ほめられてとてもうれしかったです。

自信をもって

六年 高坂 南歩

わたしは、前期の運動委員長になりました。選手宣誓をやることになりました。みんなの前でおなかから声を出すのはとても気持ちよかったです。恵田っ子の代表として自信をもてました。最高の運動会になりました。